

令和7年度 大田区立大森第十中学校 自己評価 報告書

令和8年3月2日

○ 本校の概要

・教育目標：① 心身ともに健康な生徒 ② 自ら学び、解決する生徒 ③ 自他を大切にし、鍛え合い、高め合える生徒 ・特色ある教育活動：① 平和教育を通して学ぶ国際教育・人権教育 ② 基礎学力の定着(ICT活用) ③ 生徒の主体的な活動とボランティア精神の向上 ④ 健康教育の充実 ⑤ 特別支援教育の推進 ・指導の重点：① 生きて働く力の育成 ② 安心・安全な学校 ③ 自己肯定感・自己有用感を育む ④ 英語を伴う学び ⑤ キャリア教育の充実 ⑥ 積み重ねを重視した学習

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄
								評価 人数
生予個性測り力難標をな1育未成来社主会すを創造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	保護者および生徒対象に実施した学校教育活動点検アンケートにおいて、個別目標1に関する質問項目1～3における肯定的な評価の割合によって成果の評価を行う。	4: 80%以上	個別目標1に関する質問項目の肯定的な評価回答の割合は、保護者98.3%、生徒97.9%と高く、求められる水準を上回っている。教員の肯定的な評価の割合は96.1%で、同様に高い水準にある。特に、質問項目の「授業において生徒に自分の考えをまとめさせ、他の人に伝えたり、他の人の考えを聞く場面を設定している。」に対する教員の回答は100%であった。	A 9
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 60%以上		
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 40%以上		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 40%未満		
お世帯別た目標を2うが人国を際育都成市しす	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めることにより、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみがながる機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	2	保護者および生徒対象に実施した学校教育活動点検アンケートにおいて、個別目標2に関する質問項目4～6における肯定的な評価の割合によって成果の評価を行う。	4: 80%以上	個別目標2に関する質問項目の肯定的な評価回答の割合は、保護者87.1%、生徒91.7%と高く、求められる水準を上回っている。教員の肯定的な評価の割合は80.4%で、同様に高い水準にある。特に、「教育活動全般において生徒に人権尊重・郷土の伝統、異文化理解、お互いが尊重できる教育の実施に関する質問項目」の「授業や行事を通して、世界的な視野をもたせ、戦争や平和について学ぶことに関する質問項目」については、保護者、生徒、教員の肯定的な回答はいずれも90%程度と高い水準にある。	A 7
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 60%以上		
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 40%以上		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 40%未満		
た一人め人目基と標礎り3とが個性力とを能力成をしま揮する	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通して継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	保護者および生徒対象に実施した学校教育活動点検アンケートにおいて、個別目標3に関する質問項目7～10における肯定的な評価の割合によって成果の評価を行う。	4: 80%以上	個別目標3に関する質問項目の肯定的な評価回答の割合は、保護者92.0%、生徒93.5%と高く、求められる水準を上回っている。教員の肯定的な評価の割合も97.0%で、同様に高い水準にある。特に、「授業を通して得た学びを定期調査や各種検定に結びつけることに関する質問項目」については、保護者、生徒、教員の肯定的な回答はいずれも90%を上回っている。英語や数学で習熟度別少数人数授業を展開し、生徒の個性に合わせた指導を行っていることや、放課後の「水曜補習学習会」及び夏休期中の「短期学習会」など、生徒の学びを支援していることも成果に繋がっていると考えます。	A 9
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 60%以上		
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 40%以上		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1: 40%未満		

